

第11回おのみち100km徒歩の旅

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

<p>設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)</p>
<p>親の思いは皆一緒に、すばらしいと思いました。</p>
<p>グループディスカッションで、いろいろな親の意見を聞くことができ、同調することや、こんな意見もあるんだ…と日々忙しく子育てをしている中ふりかえてみて、また考えなおさないといけないなと思いました。</p>
<p>同じ思いの親が多くて勉強になった。</p>
<p>今回、また研修会をうける事をととても楽しみにしていました。いいとしをとった大人、私を気づかせてくれるもの、さとしてくれるもの、反省させてくれる事、すなおに受けとめ、まず私から変わります。ありがとうございました。</p>
<p>優しさの中の厳しさは、子どもを成長させると感じました。</p>
<p>ディスカッションで、他の保護者の方々といろんなお話ができてとても楽しかったです。みなさん同じような思いで参加していることがわかり、子どもたちもみんな成長できたらと思いました。</p>
<p>「子を信じて待つ」グループの中でみんな思っているけれど、なかなかできないところです。でも全ては待てずとも、こうして意識することで、一呼吸おけるかもしれません。我が子ばかりみず、自分自身をふりかえりつつ、寄り添えるようにしたいと思いました。</p>
<p>普段から、子どもに対して「こうなってほしいな」「こういうことはやめてほしいな」と思うことが、よく考えたら自分ができてない、自分がしている(言っている)ということがほとんどです。分かっているもつい言うてしまう、思ってしまう…そのくり返しをこの機会に本気で見直さないと!!と思いました。</p>
<p>他の保護者の方達と話をしてみて、子どもに対しての接し方で思う事、反省が私と同じ事が多かったです。忙しい事を言い訳にせず、きちんと子供と向き合わないといけないなあと感じました。</p>
<p>前回は受講させて頂いたのに、すっかり忘れていて、またビデオに涙しました。日頃とおりすぎていることに立ち止まる機会を下さって、ありがとうございます。子どもを信じる、待つ—このことは何て難しいんでしょう!!頭で分かっているながら、ついつい口を出してしまうおろかな自分をまた反省した時間でした。</p>
<p>スクリーンやディスカッション、映像を見て、これはできている、これはできてないと客観的にふりかえることができた。親がしんをもって見守ること、待つことの大切さをすごく感じました。映像すごくよかったです。子どもが見たらどう思うかきいてみたいと思いました。</p>
<p>どうしても先に立って言うてしまったり、やってしまう事が多いので、子どもが自分でやるようにしなくては、いけないと思いました。子どもを信じて見守るようにしたいと思いました。やってはいけない子育て“5つの過”は、身に覚えがありすぎて、耳が痛かったです。過保護になりすぎないように気を付けたいと思います。あたらめて子どもと親の関係について考える機会になりました。ありがとうございました。</p>
<p>昨年もセミナーの後、子どもに対して言う事を我慢して、自分で考えさせよう…と思ったのに、一年たち、ついつい子どもに口うるさく「～しなさい」「～したら?」とか口を出している自分がいる事に気付かされました。ありがとうございます。</p>
<p>ついつい子どもにこうなって欲しい、こう変えたいと過干渉になってしまっている。親が変わらなければと、思っているものの難しい。少しずつでも努力していきたい。</p>
<p>過許可についてや、感動を共に味わうことをおざなりにしているなど、自分にあてはまる事が多く、考えさせられました。子供にとってよい経験、と思っておりましたが、親にとってもよい経験になると感じます。</p>
<p>今まで過保護にしすぎたと反省しました。</p>
<p>私がいかに子どもを甘えさせていたのか、わかる事ができました。子どもの可能性を信じるという事は、親にとっても大変な事だと思いました。</p>
<p>子どもより、まず自分(親)が考え、行動を変えていかなければと、改めて感じました。</p>

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
親が細かい事まで言いすぎなんだと感じました。もう少し、手を出さず、見守る事が必要、私にもできるかな?と思いましたが、少しは親も変わらないとなと思いました。
他の保護者の意見も聞いて参考になりました。
子どもがすることを「待つ」ことが大切だと思いました。もう少し大きな心を持って、待つ気持ち大切にしようと思います。
日々関わりが過ぎていて不足している点に少し気づきました。もっと親の背中を見せていきたいと思います。
セミナーは3回目ですが、前回から3年間があいていたので、とても考えさせられました。また、子どもの気持ちだけでなく、親としての気持ちの持ち方等を切実に感じました。
家庭での様子はどうかと見直すきっかけになった。グループ内で話し、同じような意見を聞くことができ、見守ることを実施していきたいと考える機会になりました。
日常生活の中で、ついつい先に手を出してしまっているんだなあ気づくことができました。
子どもの成長をしっかり見守りたいと思いました。日頃の行動を反省し、子どもの自立を助けたいと思います。
子どもが自ら経験した事、そして失敗から学ぶ事は大きいと思います。母親として今何が出来るのかを見つめ直すいいきっかけとなりました。
自分自身の修行が必要だと思った。(商いについて)
父親として子どものサポート役として、力になれば、力のそえ方について考えてみようと思いました。父親としての意見のようなものを自分がもっていないなと実感しました。
保護者の悩みや困っていることが聞いて、みんな同じようなことを思っているのだと安心しました。改めて子育てについて面白さ、大変さが確認できました。
「親離れ=子離れ」というのがすごく心に響きました。「5つの過」まさにこのまんまで、自分が気を付けないと子どもをダメにしてしまうという反省点を見つけることができ、とても参考になった研修でした。ありがとうございました。
子どもに対する接し方を改めて考えさせられた。
体験させてみることの大事さ、不自由な体験により、現生活のありがたさを感じてほしい。
親だけでなく、祖父母にも声掛けして協力を改めてお願いしようと思いました。映画が経営者としても考えさせられました。(自分が未熟であるなあ)
親のがまんが大切だと感じました。
待つこと、見守ることが子どもの成長に必要で、自分にできていないことだと感じました。
3回目のセミナー参加ですが、またまた反省です。「子どもに、いろいろ言いすぎたなあ。」「子どもを待ってやる事が出来ないなあ。」等、本当に反省です。子どもを信じて待てる親になれるよう努力します!
グループディスカッションでは、色々な意見がよかったです。母親は、つい口をだしてしまうという意見は、私も、子どもを見守っていこうと思いつつも、口を出してしまうので反省しました。それと、言うだけで経験をさせてないという点は、とても納得できました。子どもだけが頑張るのではなく、親も一緒に見守り、頑張らないといけないと思いました。
多くの経験をしてほしいと思いました。そして、子どもと一緒に自分自身一緒に成長したいと思いました。
子どもの力を信じて待つことの大切さと難しさを感じました。どっしり構えて子育てしていきたいです。
子どもを愛情をもって、つきはなすことのできる母親になりたいと思います。

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
大変参考になりました。
柿本団長のお話にあったように、子どもの体験を増幅できるような働きかけが親の方でできていなかったことを反省しました。これまで2回参加させて頂いて、外でのふるまいはご立派になっているようで、よくほめて頂くのですが、家での生活態度は変わりません。グループ討論の中で、ある方が、何でもありがとうと言ってくれるようになったと言われるのを聞いて、2回も参加させて頂いたのに親がそれを活かすことができなかったこと、今回3回目のチャンスを頂いたと思って、この夏は向き合いたいと思います。
子どもを自立させる為のサポートや、他の家庭での状況などグループディスカッションできたので、色々勉強になった。ふだん、気付いていない事に気付かせてくれる。
5つの過の話が心に残りました。見守る事の大変さ、しんどさを改めて実感しました。
自分が思っていたことと同じようなことを他の保護者の方も感じておられて、自分だけが悩んでいたのではないんだなと思いました。親の性格がイライラしている性格なので、子どものやる事が待てない。自分自身もそこを直さないといけないと思いました。
子どもが小さい頃は、子育ての本を何冊も読んだりもしてきましたが、大きくなるにつれて、子育てについて深く考えることが少なくなってきたように思います。今回、セミナーを受講し、改めて子どもは何才になっても私は親で、親として私も色々勉強していきたいと思いました。
親子共々「頑張ろう」という決意を持った。昨年のおの100の参加の経験を生かし、更に目的を持ってチャレンジしてほしい。
他校、他学年の保護者の方と話しをする機会を与えていただき、ありがとうございました。今回参加させていただきたく次男に対してだけでなく、長男からの親離れ、子離れが出来ていないことに、改めて気付かされました。
つつい親が先に口出しをし、子ども自身が自分で考え、判断し、行動する力を奪っているんだろうなと思いました。
映画、子どもにも観てもらいたい内容でよかったです。とても面白かったです。
子どもに対する接し方を見直したいと思った。まず親が変わる…という話があったので、自分が変わりたいと思う。未来は変えられる…という言葉に希望が持てた。
ビデオを子どもにも見せたいと思いました。5つの過をしていない様で、結構していると思い気づかせてもらいました。明日かくごは、かくごじゃないというビデオの言葉にグサツきました。子どもが明日…と逃げるタイプなので、これはマズイと思いました。
様々な考え方を聞いて「狭い家の中だけの間隔で、親の狭い考えを子どもに押しつけるのはよくないな」と思いました。沢山の目と言葉が子どもに必要なだと思いました。
三人の子どもを育てていますが、なかなか思うように（考えているような）親とはなれずにいます。家庭のみではなく、様々な体験をさせ、親も子と共に成長できるよう、これからも学んでいければいいなと思います。
環境や時代は違えど、親が子を思う気持ちはいつも変わらないと思いました。そっと手を差しだすこと、気持ちをおさえて、冷静に対応することのむずかしさを再度経験（2人目）するのだと思うと、今から気合が入ります。
学校、家庭の環境が違う保護者の方と、意見が交せた事は有意義でした。
自分のためにも、参加して良かったと感じるよう、まず自分が変われたらと思っています。
気づき学んだ事が沢山ありました。親としては、信頼して待つことも必要と思いました。2回目に参加のお子さんからは、今回の目標もでてきたと聞きました。友だちに励まされて頑張れた経験を今年は自ら声かけしたいとの事、そういった仲間との関わりから成長することも楽しみです。が、今回初参加の息子には、不安の方が大きい様子なので、プレッシャーをかけず、楽しんでくれるように声かけして送り出したいと思います。

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
今回のセミナーを受講したビデオ鑑賞の内容が、今回参加する100km徒歩の旅と重なっていて、子どもはいろいろ体験して大きく育って帰ってくる。親はきくかつ見守って無事に帰ってくるのを待つということが大切なんだなということがわかりました。普段は、子どもがやることにいちいち口をだしていましたが、自分で考えて行動することを見守ってやらなくてはいけないと思いました。
感謝の気持ちを持てることの大切さを感じました。
ビデオを観て、グループで話した内容は、親は先回りをして用意したりするのは良くない、あたたかく見守ってしようという話をしました。心配することはいっぱいあるけど、いろいろ経験させて、子どもに体験させて、自立心を養ってあげることが、本当の子育てなのだなあと思いました。少し干渉しすぎな気がしました。(私が)
ディスカッションでは、今回、仲の良い人と別れずに参加できたので、話しやすかったです。
親子共々初めての経験なので、たくさんの意見が聞いてよかったです。子育ては、本当に試行錯誤の毎日です。今日のDVDも、また、とても勉強になりました。子どもの頑張りを見守って、子どもを信じる力を私自身、付けたいと思います。
親の背中を見て育て欲しいと思うあまり、子どもにいろいろ言いすぎているなあと思いました。子どもたちが尊敬してくれるような姿を見せられるように気をつけようと思いました。
“おの100”に去年参加しなかっただけで、子どもへの接し方を忘れていた自分に気付かされました。過保護の自分です。今年、6年で最後の“おの100”なので、子ども共々成長したいと思います。
“過”には気づいてない事が多いのかなと思いました。手をかす前に、見守ってあげることが大事。自分で(子どもが)気づいて行動できるようにサポートしてあげること。
親が良かれと思ってやっている事が、ちがっている事もあるのかと子育てのむずかしさと、楽しさがわかるように(他の保護者と話して)なれたかなあと思いました。親が子離れが出来ないという事にならないようにしていきたい。なんでも経験させる事と学びました。学校がちがうと考え方も色々あるのでよい勉強になった。
人を育てる大きな事業を改めて認識いたしました。
昨年も学び、また今年も新たな気持ちで学べるところに、素晴らしさを感じます。“過”のバランス、大切にしたいです。
子育てについて、保護者間で交流ができて、とても参考になりました。また、VTRにあったように、子どもに一人でがんばらせる為には、陰での見守りがとても必要だということを知りました。(大作くんを夜通しについて見守ったおじさんのような)ここが子育ての勝負ではないでしょうか。
昨年もセミナーで感じていた見守るという事を再確認しました。自覚は無いけれど、過保護になっているようです。
親の心構えの大切さを再確認した。
子どもが修行に出るという事は、親も心配だがそれに耐え、じっくり待つ必要があると思いました。5つの過に気を付け、子育てしていきたいと思います。
今の親子の関係を考えさせられた。特に声を掛けすぎている過を痛感した。
このビデオを観るのは3回目です。観るたび改めて自分の子育てを考えさせられるし、グループで話す、親の気持ちを色々聞けるのでたのしいです。
親も学び、子ども学べる事は少ないので、いい機会をいただけたなと思います。“過”になりすぎないように注意していきたいと思います。普段の生活を考えるきっかけになりました。
親として、毎日の子どもに対する過保護的な態度を考えさせられました。

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
今日、ここに来るまでは、(前回のセミナーでは誰ともお話しなかった) まわり全てが知らない方々で、実際歩くのは息子ですが、私自身も不安な気持ちがありました。まわりのお母さん方とお話できて、みなさん同じように悩んだりしながら子育てされてるんだな…みなさんのお子さんと一緒に安心だなと少しホッとできました。
子どもとどう接したらいいのかよくわからない、何がいいのか、今の子育てがいいとは思っていないが、なんか難しい。
地域・家族・親戚が子どもの成長のために、1つの方向を向いて接することが大切だと思った。
子どもがする事に対して、少し間をおいてみてやれるように、私自身も成長したいと思いました。
親が子どもを信じ待つ事の大切さを改めて思い知りました。いつも口うるさく、先々に言っていることに反省です。日常ではなかなか第三者との関わりや、辛い体験をする事がないので、このような機会を与えていただき感謝しています。
子どもを育てることで大切なことは何なのかを改めて考えることができました。
ビデオの中で、親は自分のできない事を子どもにさせられないという考え方が心に響きました。自分は恥ずかしくない背中をしているかな、と反省しました。“5つの過”についても、改めて反省させられます。いい距離を保って、うまく見守ってやれたらと思いました。
つつい子どもがやることに対して口出しをしてしまう自分ですが、「見守る」ことの大切さを改めて感じました。親が変われば子どもが変わる…日々思っていたことでなかなか難しいですが、親自身もがんばりたいと思いました。
他の保護者の方とお話しが出来て、良かったです。子どもも大学生の方と会えるのを楽しみにしていました。
子どもは子どもなりに考え、行動している事、遅くても、親とは違う判断をしたとしても、それが我が子である事、それが我が子のペースである事を認めて、「待てる親」になりたいと強く感じています。
信じて待ち、自らが気づいて、そこで初めて自分の身になる。と言うことはわかっているのですが、なかなか家ではできない母親です。どちらかという、父親の方が「構うな、自分でやらせろ、言いすぎだ」といいながら、育児に参加してくれず、今日実は父親に来てほしかったです。
時間に追われ、1日が流れていくような中での子育て、このセミナーを受けるたび、気付かされることがあります。映画にでてくる母に見習って、今年から高校生になった息子の帰りが遅い時、夕飯を待ってます。「先食べとってええ」と言ってくれるのですが、この時間を大切にしています。
子離れ、親離れについて学んだ。人の信頼を得るためにはどうするかを考えさせられた。結果が出るまで見守ることも時には必要である。子ども自身にこたえをみつけさせることが大切である。しんどい時には、少しの手助けと家族の支えが必要。
子どもともかかわり方を考える良いきっかけになりました。「手を出す口を出す」わかっているもついでに、日常の生活になる。そんな生活を、もう一度、見直していきたいです。
子どもを信じて待つことを学びました。大人自身の、子どもの自立をサポートする修行でもあると感じました。
同じ子どもをもつ親として、同じ悩みをもつ保護者の方と話ができて、共感する話や、うちではこうという話が、グループディスカッションででき、考え方がひろがり、とてもよかったです。
4回目ですが、自分を母親として見直す良い機会になっていると思います。つい慣れあいになってしまう親子関係を、少しでも修正していきたいです。
自分自身の言動を振り返る良いきっかけになると感じました。
親のグループディスカッションがよかったです。どの親も、思っていることは同じだと感じることができました。

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4
(セミナーを受講されて、
何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

子育てについて振り返るいい機会になったと思います。1人の子どもに対する親、まわりの人の言動は大きい。

見守る大切さを感じました。